

# 健やかで笑顔あふれる 村づくり

## 1 健康づくり

### 現状と課題

食生活や生活習慣などの変化に起因する生活習慣病<sup>※1</sup>の増加が、医療費の増大や要介護者の増加にもつながっており、健康づくりに対する村民の関心や重要性は高まっています。

本村では、「椎葉村健康づくり推進協議会」を中心として、村民の健康づくりに対する意識啓発や地区の健康づくりの長、食生活改善推進員及びスポーツ推進員などと協力して村民の健康づくり活動をサポートしてきました。村民主体の健康づくり事業については、地域によって取り組みの内容に差がうかがえるため、今後は活発な取り組みがみられない地域に対する指導の強化と、地域における健康づくり活動を担う人材の育成が必要です。また、今後も過疎化、高齢化の進行が予想される中では、村民の健康づくりに対する意識の高揚がより一層重要になるため、総合保健センター「すこやか館」を中心に保健活動を行い、村民主体の健康づくりを継続して推進することが求められます。

予防活動については、各種予防接種、妊産婦健康診査にかかる助成を拡充し、村民の保健予防体制の充実や経済的負担の軽減を図ってきました。また、村民のむし歯有病者率はすべての年代で高くなっているため、今後はむし歯予防事業に力を入れていくことが重要です。さらに、全国的に昨今の経済状況や労働環境の悪化に伴い自殺者が増加傾向にあり、本村においても相談体制など対策を強化しておく必要があります。

各種がん検診については、疾病の早期発見に一定の効果があがっていますが、特定健康診査<sup>※2</sup>については地域により受診率に差がみられます。また、運動教室や栄養教室など健診後の保健指導についても、集団教育を主にすこやか館で実施してきましたが、遠隔地の対象者では参加率が低い状況にあります。疾病の早期発見、生活習慣病の予防や要介護状態になることの遅延を通じて村民の健康な生活を守ることは、本村の医療費の抑制にもつながる重要な事業であるため、今後は教育委員会等他の事業とも連携しながら、運動・栄養・生活習慣・心の健康の保健指導をこれまでよりきめ細かに実施する必要があります。

※1 **生活習慣病**:動脈硬化・高血圧・悪性腫瘍・糖尿病・肺気腫や骨の退行性変化など、若い時からの生活習慣が原因で壮年期以降好発する病気の総称。成人病。

※2 **特定健康診査**:平成20年から始まった生活習慣病予防のための健診。

## 基本方針

村民一人ひとりの健康に対する意識啓発を進めるとともに、村民主体の健康づくりの推進や各種健診（検診）及び保健指導等を通じて疾病を予防することで、村民の健康づくりを支援します。

## 施策の体系



## 施策

### ① 健康づくりの推進

- 「健康しいば21 実践計画」に基づき、「椎葉村健康づくり推進協議会」、「健康づくりの長」を中心とした村民主体の健康づくりを推進するとともに、イベントや広報活動を通じた健康づくりに対する意識の高揚を図ります。
- 村民に密着した健康づくりを推進するため、総合保健センター「すこやか館」の適切な運営管理と、総合的な保健福祉サービスの提供に努めます。

### ② 予防活動の推進

- 各種健康診査や保健指導等を通じて、妊娠・出産・育児にかかる健康管理体制の強化を図ります。
- 各種予防接種に関する情報提供を通じて村民の定期予防接種を勧奨し、感染症を防止します。
- 乳幼児から成人までの一貫した歯科保健指導と子どもへのフッ素洗口※3事業の充実により、むし歯予防対策を強化します。
- 精神保健福祉に関する相談指導體制の整備を進め、心の健康づくり及び自殺予防に取り組めます。
- 疾病の予防と早期発見をめざし、特定健康診査及び各種がん検診の受診率の向上に努めるとともに、保健指導や訪問などの事後指導を徹底し、生活習慣病を予防します。

※3 フッ素洗口:むし歯予防を目的に、一定の濃度のフッ化ナトリウムを含む溶液でうがいをすること。